

<b>授業科目名</b>	教育課程論B（中等）(2100230)		
<b>時間割名</b>	教育課程論B（中等）(33112)		
<b>時間割担当</b>	古川治		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	水・3		

### 授業の目標・概要

- (1)教育課程の意義と理論、教育課程の編成と評価の方法について学ぶ。  
(2)ナショナル・カリキュラムとしての学習指導要領について、法的位置づけ、変遷の歴史、教育の現代的課題との関わり等について学ぶ。

### 学習の到達目標

- (1)教育課程の意義を知る。  
(2)教育課程の編成と評価の方法について理解する。  
(3)学習指導要領の法的位置づけと意義について知る。  
(4)学習指導要領の変遷を通して、学習指導要領の改訂と社会状況との関わりについて知る。

### 授業方法・形式

ディスカッションやプレゼンテーション等の演習的学習方法を取り入れた講義

### 授業計画

- 第1回 教育課程の意義1 「教育課程」が意味すること、教育における必要性について学ぶ。  
第2回 教育課程の意義2 中等教育における教育課程の特徴、法的（制度的）な位置づけについて学ぶ。  
第3回 教育課程の理論と方法1  
中等教育の教育課程の編成の理論と方法について、中心となる諸要素とその関係等を理解する。  
第4回 教育課程の理論と方法2  
教育課程の編成の理論と方法について、中等教育における具体的事例を通して理解を深める。  
第5回 教育課程の理論と方法3  
学力評価、授業評価、カリキュラム評価等、中等教育の教育課程に関わる評価の理論と方法を理解する。  
第6回 教育課程の理論と方法3  
教育課程に関わる評価の理論と方法について、中等教育における具体的事例を通して理解を深める  
第7回 学習指導要領と教育課程  
ナショナル・カリキュラムである学習指導要領の教育課程としての機能・特性について学ぶ。  
第8回 2008年学習指導要領の特徴1  
中央教育審議会答申（2008）における中学校学習指導要領改訂の方針について理解する。  
第9回 2008年学習指導要領の特徴2  
改訂の要点「思考力・判断力・表現力の育成」と「言語活動」を教育課程の観点から理解する。  
第10回 2008年学習指導要領の特徴3  
改訂の要点「学習意欲の向上や学習習慣の確立」を実現する中学・高等学校の教育課程の具体を考える。  
第11回 2008年学習指導要領の特徴4  
中学校と高等学校の学習指導要領の違い、中学校と高等学校の教育課程の接続について理解する。  
第12回 学習指導要領の変遷1 昭和22年（試案）から昭和45・46年「教育の現代化」改訂まで理解する。  
第13回 学習指導要領の変遷2  
臨時教育審議会以降の学習指導要領改訂について、社会状況との関連をふまえて理解する。  
第14回 学校におけるカリキュラム・マネジメント  
学校における教育課程の改善の理論と方法について「効果のある学校論」等を学ぶ。  
第15回 教育課程と国際社会  
海外の教育課程行政およびカリキュラム理論の進歩について学び、日本の学校教育の今後の課題を考える。

### 成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポート（50%）、中間レポート（10%）、学期末テスト（40%）によって評価する。

### 準備学習・復習及び授

シラバスを見て、次週の学修テーマについて予習しておくこと。  
受講後、疑問点、さらに追求・探究したい内容について学修すること。

### 履修上のアドバイス

他の受講者の迷惑にならないように受講上のマナーを守ること。  
講義のノート、配布資料は毎回整理しておくこと。  
欠席した場合は、講義内容を出席した学生から資料をコピーさせてもらうこと。

### 教材・教科書

- 『教職をめざすひとのための教育課程論』（古川治他編著 北大路書房）  
『学習指導要領総則 中学校編』（文部科学省編著）

## 参考書

講義の際に、適切な著作を紹介する。